

赤坂ため池 ハザードマップ

ハザードマップについて

このハザードマップは、ため池が決壊した場合に、地域の方々が自主的な避難に役立てることを目的として作成されました。

図面には、ため池が決壊した場合に想定される浸水範囲などを記載しています。

また、災害時では携帯電話がつながりにくい状態が長く続く恐れがあり、家族間での連絡が取れないなどの事態が起こりがちです。

日頃から家族や地域の方と話し合い、災害時の危険な場所や避難場所を把握し、避難方法を確認しておきましょう。

Step1 自分の家の位置を確認しましょう

- ・マップで自分の家の位置を確認し、印をつけましょう。

Step2 避難場所を確認しましょう

- ・万一途中で家族が離ればなれになった時のために、集合場所を決めておきましょう。

Step3 避難ルートを考えてみましょう

- ・実際に避難場所まで歩いてみて、安全な避難ルートを確認しておきましょう。
- ・ルート沿いの危険箇所を調べておきましょう。
- ・同じ地域のグループで情報を出し合いながら、避難ルートを考えましょう。

Step4 安全・確実に避難する方法を理解しておきましょう

- ・災害や避難に関する情報のありかや入手方法を確認しておきましょう。
- ・情報の伝達がどのように行われるかを確認しておきましょう。

緊急時の連絡先一覧

災害時の連絡先(被害や異変に気づいたら連絡)

連絡先	電話番号
中野市役所 農政課	0269-22-2111
中野市役所 豊田支所(地域振興課)	0269-38-3111
中野消防署	0269-22-3386
中野警察署	0269-26-0110

避難場所一覧

一時避難所(区が開設する避難所)

施設名称	所在地	留意事項
穴田公民館	穴田141-3	
赤坂生活改善センター	豊津8151-7	

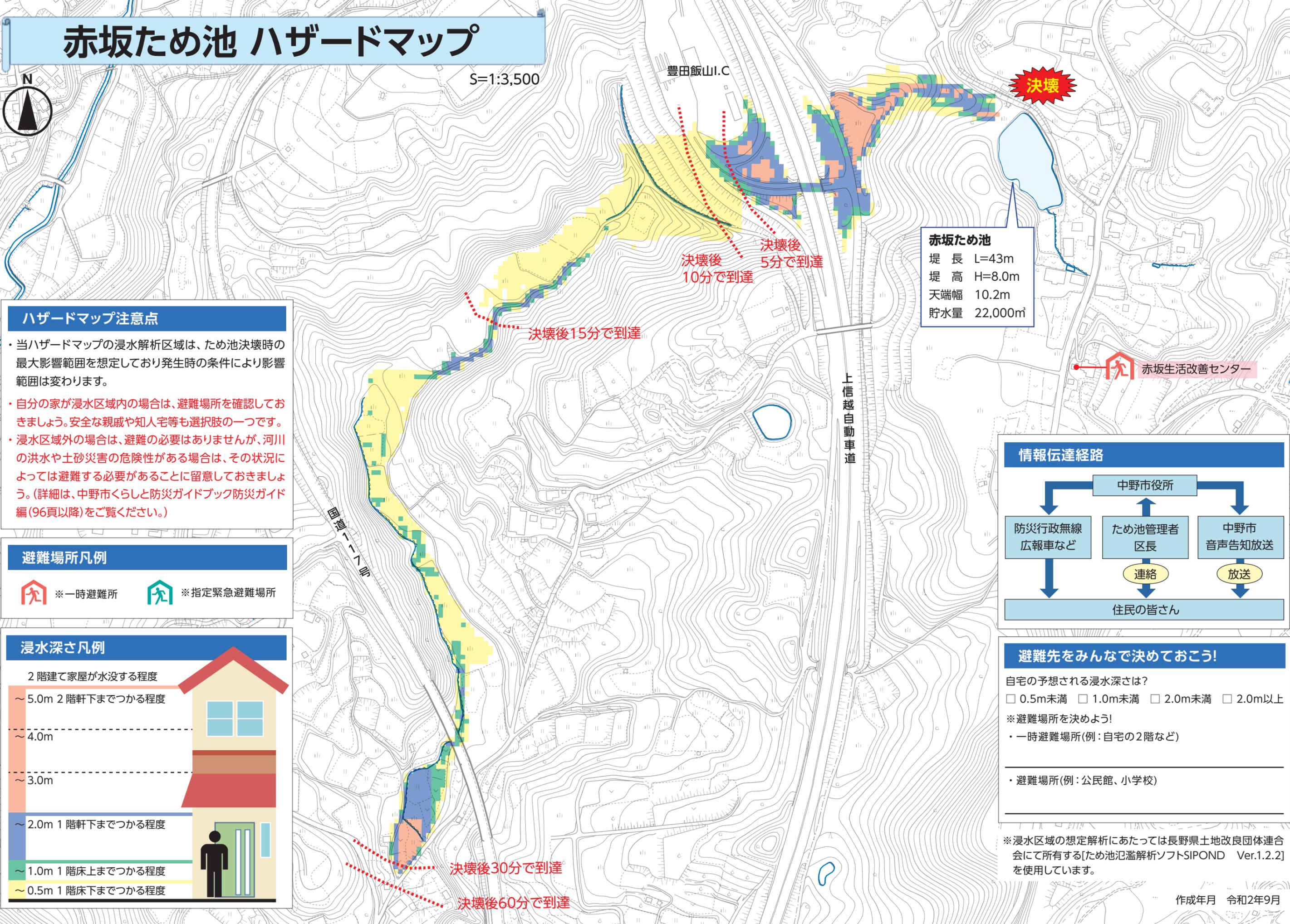
お問い合わせ先

中野市役所 経済部 農政課

電話 0269-22-2111 FAX 0269-22-5924

赤坂ため池 ハザードマップ

S=1:3,500



赤坂ため池
 堤長 L=43m
 堤高 H=8.0m
 天端幅 10.2m
 貯水量 22,000m³

ハザードマップ注意点

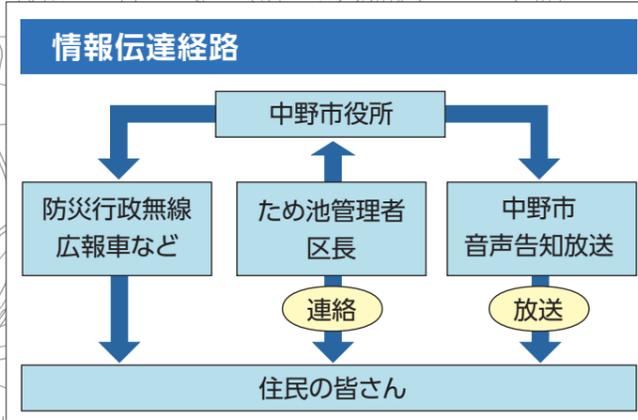
- ・当ハザードマップの浸水解析区域は、ため池決壊時の最大影響範囲を想定しており発生時の条件により影響範囲は変わります。
- ・自分の家が浸水区域内の場合は、避難場所を確認しておきましょう。安全な親戚や知人宅等も選択肢の一つです。
- ・浸水区域外の場合は、避難の必要はありませんが、河川の洪水や土砂災害の危険性がある場合は、その状況によっては避難する必要があることに留意しておきましょう。(詳細は、中野市くらしと防災ガイドブック防災ガイド編(96頁以降)をご覧ください。)

避難場所凡例

※一時避難所 ※指定緊急避難場所

浸水深さ凡例

- 2階建て家屋が水没する程度
 ~5.0m 2階軒下までつかる程度
- ~4.0m
- ~3.0m
- ~2.0m 1階軒下までつかる程度
- ~1.0m 1階床までつかる程度
- ~0.5m 1階床下までつかる程度



避難先をみんなで決めておこう!

自宅の予想される浸水深さは?
 0.5m未満 1.0m未満 2.0m未満 2.0m以上

※避難場所を決めよう!

- ・一時避難場所(例:自宅の2階など)
- ・避難場所(例:公民館、小学校)

※浸水区域の想定解析にあたっては長野県土地改良団体連合会にて所有する[ため池氾濫解析ソフトSIPOND Ver.1.2.2]を使用しています。

作成年月 令和2年9月